

——— みどり豊かな潤いのある環境づくりを目指して ———

造園 いばらき

題字：橋本 昌 茨城県知事



東日本大震災の災害復旧に関し、橋本昌茨城県知事から茨造協会員に対して感謝状が交付された

おもな内容

東日本大震災の災害対応に関し橋本茨城県知事から感謝状交付 … 2

夢や希望のある震災復興を 「用」と「景」 造園の魅せる力を活かそう … 3

公園にも大きな被害／偕楽園で復旧工事に着手／都市公園等の復旧に約7億円／新総合計画も見直しへ／「生活大県」めざす

観光活性化で復興を牽引／大洗公園で丘陵一部が崩落／安全・安心の環境対策必須／コンクリートから自然へ／災害対策を高める造園

平成23年度 春季都市緑化祭 開催 花や緑に囲まれた潤いのある快適な生活環境づくりを推進 … 9

緑化啓発事業の積極展開など推進 茨造協 平成23年度 第30回 通常総会を開催…10

「桜花は國の華 造園は緑化の友」 茨造協顧問 山口武平氏が香取神社に石碑建立 …11

「緑のカーテン」 県内各地に広がる 節電対策で認知度アップ 環境教育、花育の観点からも取り組み拡大 …12

Vol. 43

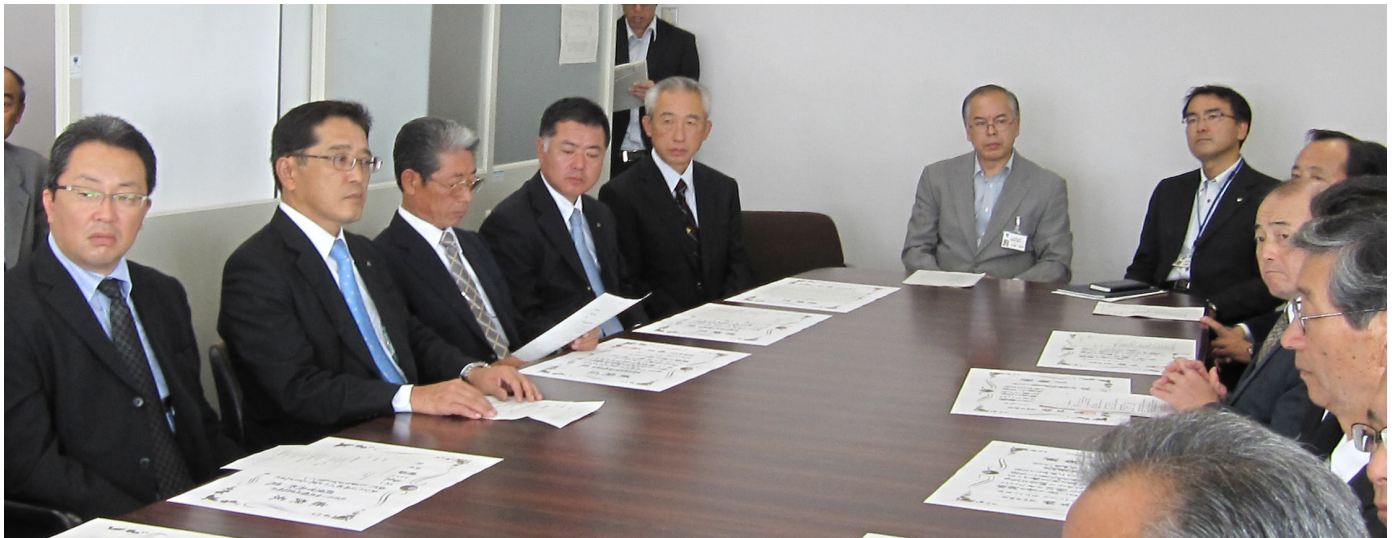
2011年(平成23年)
10月11日発行



社団法人 茨城県造園建設業協会

〒310-0804 水戸市白梅 2-4-6 Tel.029-226-5691 Fax.029-226-5692

E-mail ibazouky@topaz.ocn.ne.jp Http://www.ibarakiken.or.jp/ibazoukyo/



東日本大震災の災害対応に関し 橋本茨城県知事から感謝状交付

被災地復旧作業を献身的に遂行した協会員に感謝の意

東日本大震災の災害対応に関する知事感謝状の交付が、平成 23 年 9 月 28 日、茨城県土木部長室において行われた。

知事感謝状の交付は、去る 3 月 11 日に発生した東日本大震災への被災地復旧作業を献身的に遂行した協会員に対して、橋本昌茨城県知事から感謝の意が表されたもので、(社)茨城県造園建設業協会の川上一夫会長に手渡された。

このたびの東日本大震災は、未曾有の巨大地震と大津波などにより、茨城県では、死者・行方不明者 25 名、一部損壊も含めた住宅被害は 13 万棟以上に及ぶなど甚大な被害が生じ、福島第一原子力発電所の事故に伴い、農産物等の出荷制限や風評被害などの問題も発生し、農林水産業や観光産業などに多大な影響が及んでいる。

こうした中、茨造協は平成 20 年 10 月 30 日に、茨城県との「災害時における対策業務の応援協力に関する協定」に調印しており、巨大地震発生後、余震が相次ぎ、停電や断水、ガソリン不足の厳しい状況の中、協定に基づき、偕楽園の地盤亀裂処置や洞峰公園、赤塚公園、霞ヶ浦総合公園での被災状況調査、各地での被災物の撤去などを実施した。

当協会では、地域の安全・安心を守り、地域社会に貢献する造園建設業として、今後も会員一丸となって難局を乗り越えていく方針だ。



茨城県土木部長室にて行われた知事感謝状交付の様子①
交付された知事感謝状と川上一夫会長と澤村武次専務理事①



「日本工業経済新聞」⑤と「日刊建設新聞」⑥
平成 20 年 10 月 30 日の協定締結のもようは各紙でも紹介された

夢や希望のある震災復興を

「用」と「景」 造園の魅せる力を活かそう

東日本大震災について、日本政策投資銀行の被害額推計では、宮城県 6.5 兆円、岩手県 4.3 兆円、福島県 3.1 兆円、茨城県 2.5 兆円と茨城県へのダメージは大きく、農作物の風評被害に加え、3月19日に北関東自動車道が全線開通、3月27日には上海便が増便予定で、LCC（格安航空会社）の乗り入れで注目を集めた茨城空港も風評被害が取り除けない限り国際便が戻らないなど観光業、その他産業への影響も大きくなっている。

緑化関連では、販売された芝生の返品などが発生しているほか、茨城県造園協同組合が指定管理者として活動している「奥久慈憩いの森」も大幅に利用者が減少。「大洗公園」は、その後の台風などの影響を受け、海岸の一部が崩壊しており、一刻も早い被災地の復旧・復興、今後の自然災害等に備えた防災対策、そして、福島第一原発事故の収束が求められている。

県内の都市公園等にも大きな被害が発生

東日本大震災による県内の公園緑地への被害も大きく、偕楽園では多数の地盤沈下が発生したことから、観光シーズンの中心イベント「梅祭り」も中止となり、国営ひたち海浜公園も一時閉園するなど、地震発生から5日後の段階で14公園の損傷が判明、全面閉鎖や休園、一部施設の休止などの措置がなされた。

国営ひたち海浜公園は4月9日に部分開園、同19日に一部利用制限ながら全面開園。洞峰公園は中止していた施設利用を4月20日から順次再開。ゴールデンウィーク初日となった4月29日には、偕楽園が東

西梅林、孟宗竹林、大杉森などを部分開園、大子広域公園の多目的広場も一部被災箇所を除き再開。笠間芸術の森公園内「あそびの杜」複合遊具は8月末に修繕が完了したことから、9月1日から利用を再開した。

県公園街路課では、9月1日現在の「地震の影響による茨城県営都市公園の状況について」ウェブサイトで紹介している（表1）。

また、同課では、県営都市公園19カ所の放射線量

表1 「地震の影響による茨城県営都市公園の状況」（県発表抜粋）

【偕楽園公園】4月29日開園。開園区域は、東西梅林・孟宗竹林・大杉森・吐玉泉・見晴広場の一部・梅桜橋から吐玉泉までの園路で、拡張部の一部の園路、広場に段差や亀裂があるため、十分ご注意ください上の利用が必要 当面は安全確保のため9時から17時までとし、出入口は表門・東門・梅桜が使用可能。駐車場は偕楽園桜山第1～第3駐車場が利用できる
【弘道館公園】道館の有料エリアは当面の間閉鎖。梅林等は開園中。学生警鐘や孔子廟、築地塀が損傷しているので注意が必要
【洞峰公園】通常営業
【笠間芸術の森公園】※園路、広場、陶の杜等には、段差や地割れがあるので注意が必要
【大洗公園】海岸には多数漂着物があり、注意が必要
【大子広域公園】園路に損傷や段差箇所があるため、注意が必要
【港公園】7月1日から一部を除き開園。展望台、駐車場利用可能
【霞ヶ浦総合公園】4月26日から霞ヶ浦文化体育会館を8時30分から17時まで営業再開
【砂沼広域公園】野球場は利用できないものの6月2日から通常開園時間となり、9月3日からナイター利用可能。ただし、遊歩道に損傷や段差箇所があるため、注意が必要
【県西総合公園】6月2日から節電に配慮し、ナイター利用を再開。テニスコート、サッカー場、バーベキュー場、体育室、会議室が利用可能
【鹿島灘海浜公園】通常開園となっているが、ボードウォーク（南側）、研修棟は利用禁止。園路や展望四阿・築山は、損傷や段差・地割れの箇所あり
【堀原運動公園】競技場、武道館は利用可能。県営野球場は利用不可
【笠松運動公園】野球場、球技場、投てき場、児童スポーツ広場、多目的室、トレーニングルームは利用可能。水の広場を6月25日から9月4日まで、水曜日を除き開放。屋内水泳プール、陸上競技場、補助陸上競技場、テニスコート、体育館、登はん競技場は利用不可。園路は損傷や段差、陥没箇所があるため、注意が必要
【東町運動公園】フェンシング場、レスリング場、アーチェリー場、テニスコート（ハード、クレー）、体育館、会議室は利用可能。相撲場、トレーニング室、ボクシング場は利用不可。



水戸駅南口交番横も地盤沈下し、舗装が凸凹になっている



水戸駅南口駅、桜川に掛かる橋もずれが生じ、応急処置がされている

測定を6月、7月、9月の3回にわたって実施。園内の広場や運動施設5カ所を測定し、平均値を算出するもので、いずれの公園も4月19日に文部科学省が示した利用判断における暫定的な目安3.8マイクロシーベルト/時 (μ Sv/h) を下回った。なお、6月時の最も高い値は霞ヶ浦総合公園（土浦市）で0.360 μ Sv/h、最も低い値が県西総合公園（筑西市）0.092 μ Sv/hとなった。

9月時は、最も高い値は霞ヶ浦総合公園（土浦市）で0.346 μ Sv/h、最も低い値が県西総合公園（筑西市）0.066 μ Sv/hで、いずれの公園も、8月26日に文部科学省が示した学校の校庭・園庭の空間線量率の目安である地表から1mで毎時1 μ Sv/hを下回った。

一方、今回新たに側溝や雨どい下、遊具周りなど比較的放射線量が高いとされる箇所について測定した結果、地表1cmで1.0 μ Sv/hを超えた場所は、3公園で6箇所あり、試験的に除染を行い低減化が図られた。

偕楽園で災害復旧工事に着手

偕楽園は、未だ一部エリアの閉鎖・通行規制を実施しているが、先ごろ、国土交通省の災害査定を経て、復旧工事着工の運びとなり、公園街路課では、早期復旧に向けて取り組んでいくこととしている。

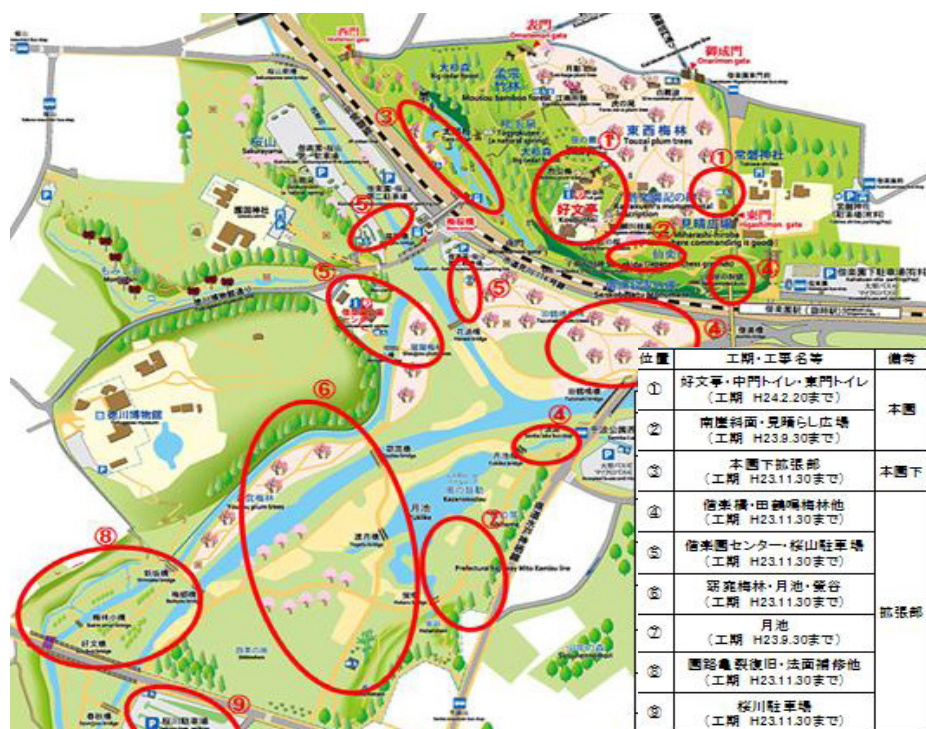
また、偕楽園・弘道館の復旧・復興にあたっては、「偕楽園・弘道館復興支援の会」（和田祐之介会長）

が設立され、市民団体や業界団体、金融機関など約50団体が参加。来年3月末まで募金をし、両施設の修繕に役立てる。

震災復興関連 都市公園等の復旧に約7億円

このほか、茨城県における震災復興関連事業では、平成23年度6月の補正予算案で、国の第一次補正予算に関連する事業等を計上し、災害復旧のための国庫補助金や県債を積極的に活用し、所要の一般財源は、一般財源基金からの繰越金を充当。また、今後多額の費用を要し、一般財源基金がほぼ枯渇していることや、今後の2年間で90億円もの財源不足が見込まれることから、徹底した行財政改革に取り組み、財政の健全化を強力に推進する必要があるとの基本的な考えに基づいて策定。予算規模は1,306億円となった。

このうち、公園・緑化関係は具体的に、災害対応公共事業（844億円）の国補災害復旧事業（土木部）として、偕楽園や弘道館公園など都市公園等の復旧事業に6億9,400万円を計上、その他、道路や河川、港湾等の復旧を推進。県立教育施設災害復旧事業として43億8,870万円を計上、このうち県営体育施設災害復旧事業（10億8,400万円）で、学校施設をはじめ、笠松運動公園や堀原運動公園、東町運動公園等の体育館や野球場の復旧工事を実施。そのほか、被災農家経営再開支援事業（1億6,515万円）では、農地の除塩や



偕楽園・弘道館の復旧・復興を応援するポスター
偕楽園の東日本大震災による被災の復旧工事位置図

礫の除去、除草、土壌改良材の投入などを実施する。

旧弘道館は現在、財務省の所管で文部科学省外局の文化庁に移管し、同庁の施設として修理費約3億円を財務省に要求、第三次補正に盛り込む方針。県は6月補正予算で修理費1億5,600万円を計上しているが、水戸市が目指す世界遺産登録には、厳密な復旧が求められ、厳しい県財政のおり、国の補正に期待したい。

新たな総合計画も震災を受け見直しへ

2009年12月から総合計画審議会で議論を開始、2010年12月に知事への答申が行われ、2011年度からスタートした新たな県総合計画についても、震災の発生に伴い、計画の策定趣旨など、3カ所を早々に追加。今後、震災復興など具体的取り組みについて計画を見直す方針を固めている。

新たな総合計画は、「いばらきの目指す姿」で示した、「住みよいいばらきづくり」「人が輝くいばらきづくり」「活力あるいばらきづくり」の3つの目標に対する政策分野のもとに、今後5年間に於いて着実に推進すべき施策や取り組みを体系的に整理。3目標をはじめ、11の政策、60の施策、204の数値目標が掲げられている。

公園・緑化関連施策では、政策の1つに「みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり」を掲げ、①地球温暖化対策の推進、②資源循環型社会づくりの推進、③霞ヶ浦など湖沼環境の保全、④林業の再生と健全な森林の育成、⑤身近な地域環境の保全と自然環境の保全・活用の5施策が盛り込まれた。

そのほか施策は、「子ども・子育てを応援する社会づくり」「高齢者が安心して暮らせる社会づくり」「生涯にわたる健康づくり」「県土の保全と社会基盤の維持・更新、生涯を通して生きる喜びを味わえる環境づくり」「歴史・芸術・文化の薫り高い地域づくり」「魅力ある観光の推進」「個性を活かした魅力的な地域づくりの推進」など、造園技術を要する各種施策が盛り込まれている。

質の高い生活環境で「生活大県」めざす

新たな総合計画は「いきいきいばらき生活大県プラン」と名付けられており、「県民一人一人が、質の高

い生活環境のもとで安全・安心、快適に暮らすことができる「生活大県」を目指し、全国のモデルとなるような地域社会を創造していく」とされており、「豊かな自然を守り、環境と調和した生活を送ることができる県」といった住みよさにも言及している。

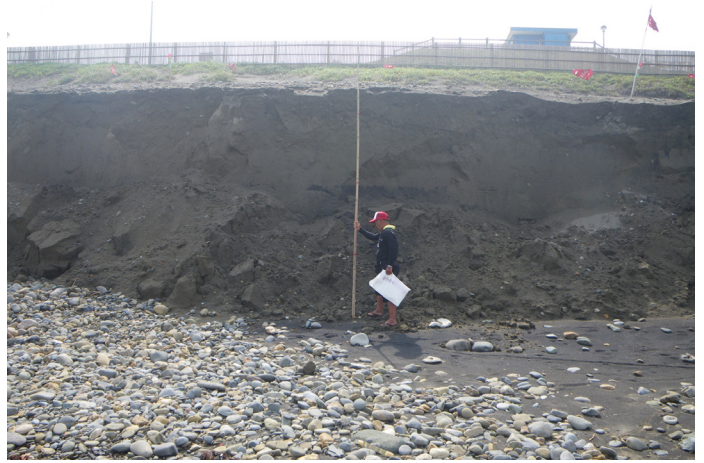
また、地域づくりのゾーニングでは、①県北山間、②県北臨海、③県央、④鹿行、⑤県南、⑥県西の6つに区分。ともに豊かな自然環境や歴史、文化を生かした観光交流空間の形成などが盛り込まれている。

さらに、政策分野横断的に施策を組み合わせた施策群によるプロジェクトである「生活大県プロジェクト」は12のプロジェクト、72の数値目標が示され、「低炭素社会実現プロジェクト」では、里山林の整備など森林吸収源対策の推進や環境学習を推進。「泳げる霞ヶ浦再生プロジェクト」では、水生植物の保全・再生や緑地の保全、魅力ある水辺空間の活用、景観の調和や生態系の保全、豊かな親水空間の提供など、河川等の水辺環境の保全を推進。

「質の高いライフスタイル創造プロジェクト」では、水と緑に恵まれた豊かな自然環境や温和な気候、歴史や伝統、文化など茨城の魅力を活かしたライフスタイルを提案、さまざまな価値観に基づく質の高い暮らしが実現できるよう、中心市街地の再生、ユニバーサルデザインに配慮した地域づくりの推進、地域資源を活かしたイベントの開催などを推進。さらに、フィルムコミッション活動の推進など、イメージアップによる「選ばれるいばらき」づくりを推進、いばらきへの愛着心の醸成を進めていくこととしている。

観光活性化で復興を牽引しよう

フィルムコミッション活動の推進は新たな総合計画にも盛り込まれたが、茨城県はこうしたロケ地誘致に早くから取り組んでおり、ロケ地にあつては公園緑地の果たす役割も大きく、松本人志監督の『さや侍』は、明治100年を記念し昭和43年に開園した茨城県植物園に隣接する約65haと広大な森林公園「茨城県民の森」などで撮影。そのほか、『仮面ライダー』細川茂樹出演で逆井城址公園（坂東市）、『ラフ』長澤まさみ、速水もこみち主演で笠松運動公園、『僕の初恋を君に捧ぐ』井上真央、岡田将生主演できぬ総合公園（常総



崩壊と浸食が進んでいる大洗公園の海岸（上左右） ならだかに続く海岸の奥が崩壊場所（下左）、崩壊場所の処置柵（下中）、大洗公園MAP（下右）



市）、『ROOKIES』佐藤隆太、市原隼人主演で鹿窪運動公園（結城市）が利用され、『夜のピクニック』多部未華子、石田卓也主演は那珂総合公園などで撮影、県民5,000人参加のオール茨城ロケ作品となっている。

また、公園緑地はロケ地だけでなく、茨城県の観光拠点として欠かせない存在で、JR 東日本のパンフレット「がんばろう！日本 秋のいばらきよいとこプラン」（小さな旅・茨城県内エリア 2011.9-12）は、大沢たかお主演映画『桜田門外ノ変』のオープンロケセットや記念展示館（水戸市）、日本三大花火大会の一つである「土浦全国花火競技大会」、国営ひたち海浜公園の大草原を舞台に繰り広げられる「大草原の花火と音楽」をはじめ、紅葉、イベント、観光地を紹介。茨城県植物園や偕楽園、もみじ谷、水戸市植物公園、約8haに500万本のコスモスが栽培されている希望ヶ丘公園、茨城県フラワーパーク、常陸風土記の丘、小貝川ふれあい公園などが紹介されるほか、県立歴史館は、豊富な資料のほか、「樹木や草花にも恵まれ、季節によってさまざまな美しい装いをみせるが、特に秋のイチヨウ並木は見事」と美しい景観が見どころに挙げられている。そのほか、みどり関係では、日本で最も古い菊祭典として「笠間の菊まつり」、自然景勝地として、袋田の滝や花貫溪谷、花園溪谷、筑波山などが紹介され、こうした自然環境も含め、観光における公園緑地の果たす役割は大きい。

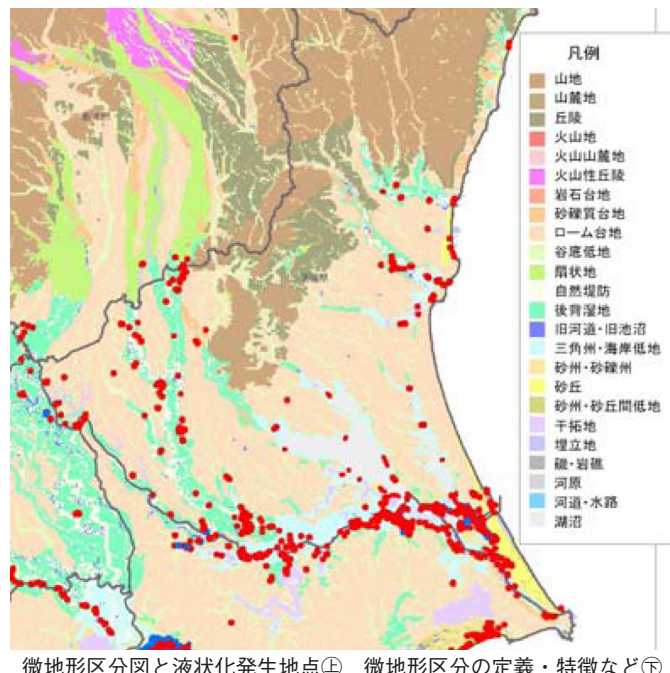
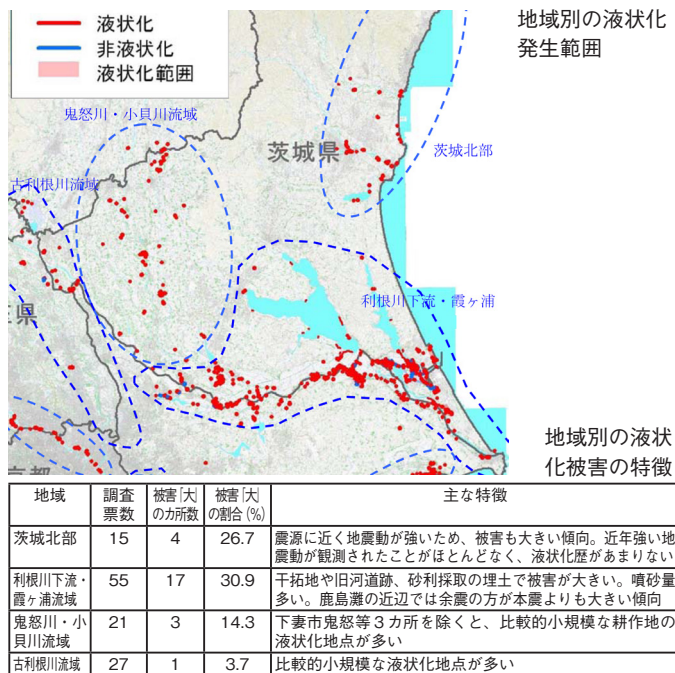
大洗公園の海岸で丘陵一部が崩落

復興にあたっては、観光拠点の県内外へのアピールとともに、観光施設の安全・安心確保が重要となっている。茨城県造園業協同組合が指定管理者として活動している「大洗公園」は、3月11日の大地震や大津波直後は大きな影響は見られなかったものの、その後の台風等の影響を受け、砂浜に連続しなだらかだった丘陵が延長約100mにわたって崩壊し、高いところで約7mほどの断崖となっている。

崩落部分は、遊泳禁止部分であり、海水浴客が利用する砂浜への大きな影響は今のところなく、現在、立ち入り禁止の措置を取っている。しかし、崩落部が駐車場下部まで迫れば、駐車場が使用できなくなる恐れもあり、何より、大きく削られた断崖が利用者に不安を与えるため、原因究明と早急な対策が求められる。

安全・安心の環境対策が必須に

安全対策は、安全を阻害する原因の究明が何よりだが、今回の大地震で改めて注目された地震による液状化について、はじめて国による実地調査が行われ、その結果がまとめられた。8月29日に発表された調査結果は、国土交通省関東整備局と公益社団法人地盤工学会が共同で実施。今年3月11日の地震に影響による地盤液状化現象の実態について調査し、今後の対策技



術の資料とする。

調査は、地盤液状化現象を生じた1都6県（茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県）の96市区町村について、液状化発生状況と、その素因となる地形地質等に関する情報を加えて、カ所ごとの調査票を整理したもの。

これによると、茨城県内では36市町村で発生しており、調査を行った7都県の96市区町村で液状化が発生しているものの、震源地に近い茨城県が最も数多く、範囲も広がった。

具体的には、高萩、笠間、牛久、常陸大宮、桜川、小美玉、城里、大子の8市町を除く36市町村で液状化が発生。特に潮来市日の出地区と稲敷市結佐地区で被害と面積が大きく、震源に近く、振動が強かった県北部で被害が大きくなる傾向がみられ、利根川下流、霞ヶ浦流域は干拓地や旧河道跡、砂利採取の埋土で噴砂量が多く、被害が大きかった。

微地形区分図と液状化発生地点① 微地形区分の定義・特徴など②

微地形の分類による液状化の発生割合は、埋立地約35%、三角州・海岸低地約16%、後背湿地、干拓地、砂州・砂礫州各約8%、旧河道・旧池沼約7%だった。

コンクリートから自然へ

東京農業大学東京緑友会は、広く一般からの参加も得て毎年開催しているリカレントスクールのテーマを今年は「震災と造園」とし、9月から来年1月までの全5回開催。第1回目となった9月29日は、進士

五十八東京農業大学名誉教授が「震災に学ぶ造園家の心得」と題して講演した。

進士名誉教授は、大正12年に関東大震災が発生し、13年に農大造園の前身となる東京高等造園学校ができた。これは、震災復興に造園の力が必要だと感じた上原敬二初代校長が私財を投げ出し、わずか半年で実現させもので、震災復興で造園が誕生したといっても過言ではないと、震災と造園のかかわりを強調した。

次いで、自ら委員長を務める日本学術会議の東日本大震災対策委員会・被災地域の復興グランドデザイン分科会が取りまとめた「東日本大震災被災地域の復興に向けて－復興の目標と7つの原則－」について、復興の目標とした「いのちと希望を育む復興」や7つの原則とした「市町村と住民を主体とする計画策定」「いのちを守ることのできる安全な沿岸域の再生」などを紹介。中でも、「流域自然共生都市」の原則は、ランドスケープの領域であり、阪神・淡路大震災が都心部の復興が主であったのに対し、今回の震災復興は自然との共生がポイントになるとした。

また、民主党はコンクリートから“人”へと言ったが、私は“自然”へだと思っていると、造園家は自然災害を完全に防ぐことはできず、地形や水の流れなど、もう一度自然を見つめ直し、減災など柔らかな対応が重要と訴えているが、震災後もより強く高い防潮堤などの整備を求める技術者が多いことに言及。ハードなものだけで何でも解決する訳ではないということが、今回の地震の人類に対する教訓と、造園の「用」と「景」に改めて着目すべきとした。

災害対策を世界遺産に高める造園

関東大震災の復興では、震災復興公園として、国が3つの大公園、東京市が52の小公園を整備。責任者はそれぞれ折下吉延復興局建築部公園課長、井下清東京市公園課長で、当時最先端のモダンデザインの導入や小学校と合わせた配置など、造園の力を結集して整備、震災が造園家の新たな職能を生み出した。造園の空間づくりは長い歴史を持ち、用と景を生かした造園空間は、各地の名所にもなっている。広く知られる桂離宮はもともとは水屋であり、周囲の竹林や生きたままの竹を織り込んだ竹垣が押し寄せる水の勢いを弱め

用と景（用：災害対応）環境植栽

震災	防災と避難のための空地（震災復興公園）
火災	防火樹（サンゴジュ、イチヨウ等）
風害	海岸林、防潮林、屋敷林（居久根、築地松等）、防風林（農業用防風林）
雪害	防雪林（北海道、シベリア等の鉄道林）
虫害	アグロフォレストリーと生物多様性
洪水	微高地（安定地盤）、河畔林（梓川）、水屋（桂離宮）、水制工（竹林）、庭園護岸（宮島）、蛇籠護岸（対龍山荘）



講演する進士五十八東京農業大学名誉教授

るなど、災害を低減する様々な工夫が取り入れられ、宮島の庭園護岸など、いずれも用だけではなく、“魅せる”景まで高めていたと、その事例を紹介した。

そして最後に、「洪水対策から世界的景勝地へ」と、世界遺産になった中国・杭州市の西湖を紹介。中国の造園景勝地には、囲われた庭を中心とした蘇州の庭もあるが、西湖の広々とした場所での美しい景観づくりは、今回の震災復興に大変参考になるとした。

西湖は、洪水対策から築堤、交通対策から兩岸を直結するバイパス、内水面漁業対策からアーチ橋の架橋で舟運を確保、緑化対策から楊柳を列植、景観対策から造景・修景で詩題・画題の名所をつくり、景観建築として塔や院を景観ポイントに配置し、浚渫した泥の活用、橋や道路の作り方の一つ一つが「いい風景」につながっており、それぞれの堤や橋の名称も歴史的・文化的で大きな魅力になっている。

このため、広島縮景園、福岡大濠公園など、日本各地の名園・名所も西湖をモデルとした景観づくりを行ってきた。しかし、この西湖の景観づくりが洪水対策をきっかけとしていることは知られておらず、今回改めて紹介することにした。西湖の手法、用を景にまで高めることが、これからの公共事業の進め方のモデルになる。各地で震災復興計画づくりが進められ、タイトルに夢や希望を冠したものは多いが、具体的な夢や希望につながるものがなければ、元気が出ない。

いま私たちにできることは、これからどう生きるか、より良くすることを考えることであり、造園はその力を十分に持っている。さまざまな場面で積極的に造園の力を発揮していただきたいと呼び掛けた。

平成 23 年度 春季都市緑化祭 開催

花や緑に囲まれた潤いのある快適な生活環境づくりを推進



竹垣づくり体験のようす㊤と竹細工教室のようす㊦（鹿島灘海浜公園）

平成 23 年度春季都市緑化祭が、国営公園や県営公園 2 カ所で行われた。

緑化祭は、花や緑に囲まれた潤いのある快適な生活環境づくりを進めていくためには、県民の皆様の積極的な参画がとても重要になることから、県民の皆様に都市緑化の大切さを楽しみながら感じていただけるよう各会場で緑化普及啓発イベント等を実施しているもの。

このうち、国営ひたち海浜公園（ひたちなか市）は 5 月 15 日に海浜公園検定や都市緑化検定を実施、そのほか緑化相談コーナーや球根、風船の無料配布を行

った。鹿島灘海浜公園（銚田市）は 5 月 21 日に竹細工の作成配布や生垣づくり体験コーナー、緑化相談、パーク堆肥や草花の種子、風船の無料配布を実施。笠間芸術の森公園（笠間市）は 5 月 22 日にインテリアグリーン作成教室、球根つかみ取り、竹細工教室、緑化相談、木材木端、水ヨーヨー、風船の配布を行い都市緑化のアピールを行った。

なお、今年度は、東日本大震災の影響から、偕楽園公園（水戸市）、港公園（神栖市）、洞峰公園（つくば市）、砂沼広域公園（下妻市）、県西総合公園（筑西市）での開催が中止された。



花鉢やパーク堆肥、草花の種子など、無料配布はいつも人気で長い列ができた（鹿島灘海浜公園）

緑化啓発事業の積極展開など推進

茨造協 平成 23 年度 第 30 回 通常総会を開催



茨造協の平成 23 年度第 30 回通常総会は 5 月 26 日、水戸市の茨城県建設技術研修センターで行われた。

総会は、開会の後、川上一夫会長があいさつ。次いで、茨城県公園街路課技佐兼技術統括の小室晃氏から来賓祝辞をいただき、祝電披露の後、功労者表彰が行われた。

功労者表彰は、「勤続精励表彰」を、砂川ひろ子氏（水戸緑地建設㈱）、鈴木詳乃氏（㈱石翠園）、鈴木稔雄氏（鹿島庭園㈱）、黒田伊二氏（㈱市川造園建設）、吉原利夫氏（㈱市川造園建設）、岡野勉氏（㈱岩井造園土木）の 6 氏が受賞。受賞者代表から謝辞が述べられた。

議事は、平成 22 年度事業報告、収支決算報告、平成 23 年度事業計画、収支予算のほか、一般社団定款など、6 つの議案を審議承認した。

このうち、平成 23 年度事業計画では、①緑化啓発事業の積極的な展開、②会員の社会的基盤の確立、③会員への研修事業の充実、

④ボランティア活動の実施、⑤災害時における応援協力体制の確立を柱に、春季・秋季の都市緑化祭への協力をはじめとする都市緑化の推進に寄与するための協力及び協賛、若手造園職の技術・技能の向上、関係団体との連携・協調の拡大、社会還元事業（ボランティア活動）の実施などの具体的な事業に取り組み、さらに今年度は、公益法人改革三法に基づき、一般社団法人への移行を進めていくこととした。



小室晃技佐④と川上一夫会長⑤



功労者表彰の受賞者代表から謝辞が述べられた



「桜花は國の華 造園は緑化の友」

茨造協顧問 山口武平氏が香取神社に石碑建立



茨造協顧問の山口武平自由民主党茨城県支部最高顧問が坂東市内の香取神社境内に「桜花は國の華 造園は緑化の友」と記した石碑を建立し、5月25日に除

幕式が行われた。

石碑は筑波石で、幅3.6、奥行き2.4mの周囲を御影延石で囲い、高さ1mの四ツ目垣を3方に設置、ドウダンツツジやモミジ、白河砂や飛び石を配した中央に設置された。

除幕式は、修祓、除幕、降神、献饌の儀、祝詞奏上の後、山口武平氏、海野透茨城県議会議員に次いで、香取神社氏子5名、川上一夫会長をはじめ、茨造協関係10名が玉串奉奠。撤饌、昇神の儀をもって閉会した。

山口武平氏は坂東市出身で、2009年に旭日重光章受章するなど、県議会議員として半世紀以上にわたり尽力。2度の県議会議長をはじめ、全国都道府県議会議長会長なども歴任し、幅広く活躍された。

なお、同日、常総市豊岡町で祝賀会も行われた。



香取神社（坂東市内）境内で行われた除幕式のようす

「緑のカーテン」県内各地に広がる

節電対策で認知度アップ 環境教育、花育の視点からも取り組み拡大

茨造協会員（株松風園）社屋の「緑のカーテン」

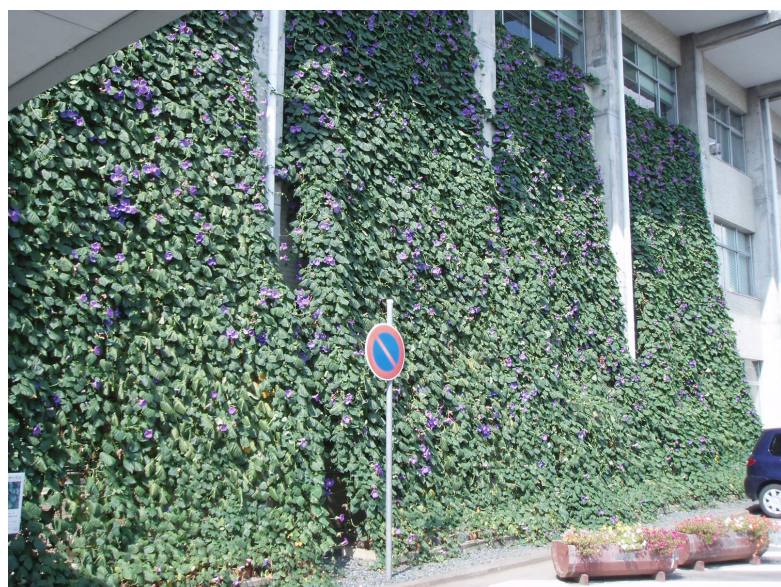
東日本大震災の影響による節電対策をきっかけに、「緑のカーテン」の普及が進んでいる。「緑のカーテン」は、植物を建築物の外側に生育させることで、太陽光を遮り、植物の蒸散による気化熱の効果と合わせて、室内の温度上昇を抑制するもの。室内の断熱にはカーテンやサッシの効果もあるが、日光が当たり続けると熱放射を起こす欠点があり、これに対し外断熱は、建築物そのものに効果を発揮し、太陽光による温度変化を低減するだけでなく、酸性雨や紫外線がもたらす外壁の劣化予防にもつながるとされている。

近年、特殊緑化の一手法として、壁面緑化が普及しており、「緑のカーテン」は、こうした壁面緑化の一手法ともいえるが、落葉性のつる植物を用い、ネットに這わせるタイプが中心で、鑑賞や収穫などの目的を

兼ねて、アサガオやゴーヤなどを用いる場合も多い。

さらに、環境教育などの観点から、環境省の学校等エコ改修・環境教育モデル事業の一環として緑のカーテンを導入する学校もあり、農林水産省でも花きの多様な機能に着目し、花きを教育、地域活動等に取り入れる取り組みを新たに「花育」として位置づけ、「緑のカーテン」などの活動も取り入れ、花育活動を展開している。

茨城県でも、環境保全茨城県民会議との共催で、省エネ効果が高く、誰もが楽しみながら実践できる「緑のカーテン」づくりをエコライフ県民運動として推進。昨年に引き続き、今年も「いばらき緑のカーテンコンテスト」を開催。9月末の募集締め切りで、生育部門と普及部門の2部門で現在、入賞者を選考中だ。



下妻市役所の「緑のカーテン」は、アサガオ（ケープタウンブルー：深みのあるブルーからピンクへと1日の中で色変わりする宿根草の大型種）で実施され、庁舎の3階までを覆うほど、立派に成長した

平成21年度より指定管理者へ

(心より皆様のお越しをお待ちしております。)

茨城県 奥久慈憩いの森 (21年度～ 再指定)



※平成18～20年度 奥久慈憩いの森 モリモリフェスタの様様

奥久慈憩いの森 管理事務所 大子町大字高柴4164-3 電話 0295-76-0002
<http://www5.ocn.ne.jp/~ikoimori> E-mail ikoinomori@cello.ocn.ne.jp

茨城県 大洗公園 (21年度～ 指定)



大洗公園事務所 大洗町磯浜町8249 電話 029-219-5970
E-mail oarai-kouen@honey.ocn.ne.jp

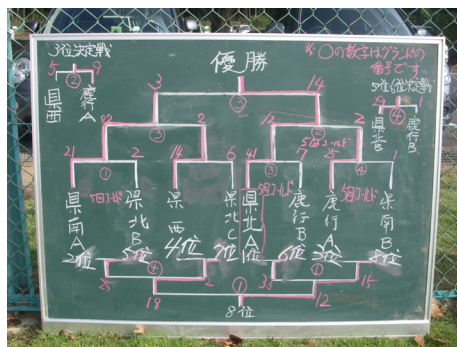


茨城県造園業協同組合

理事長 飛田賢一 副理事長 川上一夫 庄司憲生
専務理事 稲見洋二 ほか 組合員一同

事務局 水戸市白梅2-4-6 電話029-302-7900 FAX 029-302-7901
E-mail ibazoukumi@honey.ocn.ne.jp

第20回 茨造協「ソフトボール大会」を開催



会員の親睦を深めるため毎年実施している茨造協「ソフトボール大会」が9月9日、水戸市市民球場で行われた。

今回は、第20回の記念すべき大会となり、県北3チーム、県南2チーム、鹿行2チーム、県西1チームの合わせて8チームが参加して、トーナメント形式で試合を行った。

開会式は、田中資康事業委員会副委員長の進行で行われ、飛田賢一副会長の開会の言葉に次いで、川上一夫会長があいさつ。昨年の優勝チームである県南Aチームから優勝カップの返還が行われ、競技ルールの説

明が永井剛人氏によって行われた。

各試合とも、力の入った投打で熱戦が繰り広げられ、この結果、県北Aチームが3試合を勝ち抜いて優勝。県南Aチームが2位、鹿行Aチームが3位となった。

閉会式は、柴崎茂雄事業委員会副委員長の進行で行われ、庄司憲生事業委員長の成績発表の後、表彰と総評が行われ、川上会長からトロフィーが手渡されるなど、参加者の健闘を称え合い、橋本純一副会長の閉会のあいさつで散会。恵まれた天候のもと、会員の親睦を深めるまたとない機会となった。



第10回 すまい・建築・都市の環境展「ecobuild2011」エコビルド開催

第10回すまい・建築・都市の環境展 エコビルド2011は9月26日から3日間、東京国際フォーラムで「建



築と都市の地球環境ソリューション」をテーマに開催した。同展は世界最大の建築イベント・UIA大会（世界建築家会議と併催。このため、会場内には、世界各国からの展示も数多く、震災対策、エネルギー対策資材、屋上や壁面緑化などの緑化資材、新月伐採・天然乾燥の天竜杉とヒノキ、つくば市の森林総合研究所などが出展し、「誰が景観を創るのか」基調講演・堀江敏幸早稲田大学教授、「国際森林年にあたって」(社)創造再生研究所などのセミナーも行われた。

関東地方整備局の一般競争入札 「造園CPD」が加点対象に

先ごろ8月17日に公告された関東地方整備局のH23 園内施設改修工事（国営ひたち海浜公園内）に係る一般競争入札は、総合評価落札方式（標準Ⅱ型）の「工事のうち、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札工事」の試行工事で、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける「契約後VE方式」の試行工事となった。今回の入札は、造園CPD（造園継続教育）が加点対象となったのが特徴。ただ、「標準点」を100点、「施工体制評価点」の最高点

を30点、「加算点」の最高点を50点とする中で、評価の基準となる「技術力」「信頼性社会性」「施工体制」中、評価点最高111点となる技術力に1点の加算が設けられたに留まった。また、加点に際しては、過去1年間に各団体推奨単位以上を取得しており、配置予定技術者が複数提出された場合はすべての技術者が取得していなければならない。造園の場合年間50単位≒受講等50時間のため、現在のところ、単位取得も難しく、仮に取得していたとしても加点1点に留まっており、今後、入札時の造園CPDの取り扱いが本格化されることを望みたい。



造園界の宮澤賢治『木を選ぶ・野田坂造園樹木事典』が話題に

著者の野田坂伸也氏は、東大で造園学を学んだ後、小岩井農牧で緑化部門の創成に尽力、45歳で野田坂緑研究所を設立し、庭園設計・工事だけでなく、自宅周辺に植物園を造り、『花林舎ガーデニング便り』を発行、岩手に根差し、イートハープの世界を实践してきた造園界の宮澤賢治。本書

は、大きさや役割、環境、香り、花、実などからも適地適木を選ぶこれまでにない事典で、樹の見せ方や使い分けなども第一線で活躍されてきた経験を基に解説。海岸での注意点などについても言及している。掲載樹種は1612種に上り、PC/携帯の『花ペディア』カラー写真と連動。これまでの公共用緑化樹木の概念を覆し、造園をはじめ、広くみどりのあり方に一石を投じる大作、ある意味造園家にとっては“怖い本”と10月10日の発行を前に話題を集めている。(株)アボック社刊、B5判、上製720頁、定価（税込）16,800円（送料800円）、詳細はweb『野田坂造園樹木』で検索を。

編集後記 経済的支援だけでは乗り越えられない震災を“希望”で乗り越えたい

本号では、もっと造園建設業関連の話題をと資料を集めていたが、これだけの災害を乗り越え、復興するためには、精神的な力“希望”が欠かせないと思った。今なお、福島第一原子力発電所で危険を覚悟の上で作業をされている方々がいる。人々を守りたいという“希望”こそが、その精神的な支えになっているのではないだろうか。これだけは、決して経済的支援では補えないものであり、造園に携わる者にとってもこの精神的な“希望”が不可欠だ。

私たち、造園関係者は、県との防災協定をはじめ、防災に資する公園や緑地の整備など、これまでも安全・安心、そして快適な環境づくりを掲げ、その推進に取り組んできた。1978年の宮城県沖地震ではブロック塀の倒壊で死者16人のうち、11人が犠牲となり、その後生垣が揺れた。今回の地震でも、こうした取り組みによって守られた命もあったのではないかと。いざという時のことや、手前味噌と受け取られがちなことはいっぱいあるものの、私たちが取り組んでいる仕事は、こうした安全・安心に関わる重要な仕事であり、災害は起こらない方がいいが、将来の不安を軽減する“希望”に満ちた仕事だと思う。今回、大きな被害を受けた陸前高田市は、昭和35年のチリ地震津波で大きな被害を受けた。しかし、約300年前に海岸耕地の風と波を防ごうと植えた7万本の松のうち、約3千本が根こそぎ倒されたが、松原は津波が通過する際の抵抗力となり、津波のスピードとエネルギーを減衰させ、中心商店街を救ったと言われている。

今回の被災地で、塩釜市の男性が、もうダメだと思ったが、樹木に引っかかって何とか助かったと話すなど、樹木が人々を救った事例が報告されている。一方、被災地では、倒木や倒壊家屋などで救助が難航しているとの報道もあった。防潮にはしっかりと根張りが不可欠であり、都心部でも狭い植え垣で根をしっかりと張ることができない高木などは、被害を防ぐどころか倒木による災害につながる可能性があり、ただ、緑を増やせばいいというものではない。適切な緑、空間づくりが求められ、日常生活での癒しや潤い、環境への配慮だけでなく、目に見えない専門家としての経験や技術といった私たちの日頃の取り組みは、いつ起こるかわからない非常時にこそ、その真価が発揮されるようにも思う。

公共事業の縮減など、造園建設業を取り巻く経済的環境は、今後、一層厳しさを増すと思われるが、精神的な“希望”の先に、将来があるように思う。今後の復興、将来の安全・安心な街づくりのために、“希望”を持って、取り組んでいきたいものである。

社 団 法 人 茨 城 県 造 園 建 設 業 協 会 会 員 名 簿

＜県北支部＞			支部長 中庭 隆夫		
(有)会沢造園	水戸市渡里町 2526	029-225-0067	(有)藤和造園土木	神栖市矢田部 3332	0479-48-0468
(株)市毛造園	ひたちなか市馬渡 1285-5	029-272-1334	(株)富山園建設	鹿嶋市大船津 2223	0299-82-0516
岩倉緑化産業(株)	笠間市福原字トウガ峰 800-3	0296-74-4468	常陸緑化土木(株)	鹿嶋市大字須賀 442	0299-82-4128
(株)植幸	水戸市栗崎町 1682	029-240-5008	日比谷殖産(株)	鹿嶋市武井釜 793-1	0299-69-1762
(株)植正園	水戸市常磐町 1-1-40	029-224-8766	(株)ミドリヤ	鉾田市大蔵 233-5	0291-39-6088
(株)海野ガーデン	ひたちなか市中根 5072	029-273-6013	山中造園土木(株)	神栖市筒井 1373-1	0299-92-0251
(有)エバタ造園	水戸市上国井町 1594	029-239-6322	豊造園(株)	神栖市筒井 1213	0299-92-2566
(株)大平造園土木	笠間市鯉淵 6241-42	0296-77-3021	(株)和鹿松園建設	神栖市太田 456-15	0479-46-0033
(株)神永造園	ひたちなか市足崎 1287	029-285-0246	＜県南支部＞		
(株)嶋志田造園建設	水戸市青柳町 3814-2	029-225-6052	(有)荒井緑化土木	つくば市篠崎 231-1	029-864-0825
環境保全事業(株)	那珂郡東海村村松 1033-1	029-282-8855	(株)飯塚農園土木	つくば市上里 390	029-847-0662
興和緑地建設(株)	水戸市白梅 1-3-23 興和ビル	029-225-6187	(株)市川造園建設	つくば市今鹿島 103	029-847-2554
(株)小澤造園	水戸市上水戸 1-4-38	029-224-7733	茨城県県南造園土木 (業)	土浦市田中 3-2-1	029-822-3771
(株)小林造園	水戸市小吹町 2054-2	029-241-7587	(株)茨城光松園	取手市桑原 597	0297-73-2231
(有)小林農園	日立市折笠町 719	0294-43-5193	(株)浮間興業	つくば市片田 343	029-837-1603(代)
山水造園建設(株)	小美玉市小岩戸 334	0299-48-3030	オガ建設(株)	土浦市乙戸南 3-8-13	029-830-4300
(株)三陽造園土木	東茨城郡城里町小勝 718-2	0296-70-6061	(株)オキヤマ	つくば市要 109	029-864-0444
(株)信濃造園土木	ひたちなか市西大島 1-1-30	029-273-2756	(株)貝沢造園土木	つくば市谷田部 3524-2	029-837-0222
(有)十文字造園	ひたちなか市佐和 1468	029-285-0879	(株)川上農場	つくばみらい市小張 4041	0297-58-6518
(株)松風園	ひたちなか市長砂 625-2	029-285-3210	菊地植木建設(株)	取手市桑原 1104	0297-73-3241
昭和造園土木(株)	笠間市笠間 4358-2	0296-72-5104	(株)小久保造園土木	つくば市小田 2830	029-867-3399
(株)植心園	那珂市本米崎 2702	029-298-1498	(株)古平園	つくば市蓮沼 10	029-864-0777
(有)鈴木グリーン企画	水戸市小吹町 1555-9	029-244-2700	(株)坂田園芸	土浦市上坂田 610	029-862-2431
(有)鈴木緑化サービス	水戸市萱場町 747-2	029-253-3910	佐藤造園土木(有)	つくば市南中妻 750	029-836-0225
(株)砂押園芸	ひたちなか市高野 48	029-285-0233	(株)芝良	つくば市作谷 3438-7	029-869-0311
(有)成樹園	水戸市平須町 1846	029-241-0238	スズキ造園土木(株)	つくば市寺具 1011-1	029-869-0500
(株)石翠園	水戸市平須町 2-97	029-241-0404	第一造園土木(株)	土浦市大岩田 534	029-821-3708(代)
(株)千本杉	那珂市菅谷 605-21	029-298-0575	大成造園土木(株)	土浦市西並木 3600	029-822-2311
(株)大京園	水戸市姫子 1-41-1	029-253-0615	(株)千代田	かすみがうら市横堀 287	0299-59-4068
(株)大子造園土木	久慈郡大子町矢田 910-1	0295-72-0001	つくば都市緑化(株)	つくば市下別府 489-81	029-847-6439
(株)高砂造園	水戸市堀町 2303	029-251-9157	土浦造園(株)	土浦市佐野子 1061-1	029-821-3585(代)
(有)立原緑地土木	水戸市飯島町 554	029-251-5081	遠野緑地建設(株)	つくば市東光台 1-19-4	029-847-5282
(株)田寺緑地土木	水戸市吉沼町 965	029-227-3388	常盤造園建設(株)	取手市駒場 4-5-22	0297-73-0551
(株)田中造園土木	笠間市箱田 1167-1	0296-72-1027	(株)トヨシマ総合建設	つくば市上横場 2157-1	029-836-5959
(株)タナカ築庭	水戸市石川町 2-4074-8	029-253-4128	(株)直井造園土木	つくばみらい市日川 571	0297-52-2600
常磐造園(株)	水戸市酒門町 3218-1	029-248-0081	(株)野堀造園土木	つくば市遠東 254-1	029-847-3678
(株)都市緑地サービス	ひたちなか市中根 3646-6	029-273-7662	橋本造園土木(株)	つくば市大角豆 2012-36	029-851-2547
(株)中庭造園土木	那珂市横堀 660	029-298-3291	ヒタチ緑化(株)	つくばみらい市簡戸 103	0297-52-3251
(株)日本造園	水戸市見川 5-1251-63	029-229-8840	不二造園土木(株)	土浦市佐野子 655	029-821-5438
(株)沼田緑化園	水戸市笠原町 1691-2	029-243-0123	(有)モリタグリーン工業	牛久市牛久町 3318-8	029-872-0336
(株)橋本農園	那珂郡東海村豊岡 466	029-282-2388	吉岡緑地(株)	龍ヶ崎市田町 3026-6	0297-64-1121
(資) 幡弁商店緑化部	小美玉市小川 1488	0299-58-2002(代)	吉沼造園土木(株)	つくば市吉沼 2000	029-865-0177
飛竜造園(株)	那珂市堤 302	029-298-7945	緑化植産(株)	つくば市若栗 913	029-876-0606
(株)水庭農園	日立市本宮町 5-8-6	0294-24-3228	(株)若倉	つくば市島名 652	029-847-7397
(株)水戸グリーンサービス	水戸市堀町 959	029-225-2754	＜県西支部＞		
水戸緑地建設(株)	水戸市元吉田町 1852-86	029-248-8700	支部長 山口 喜弘		
(株)宮嶋造園土木	東茨城郡茨城町小幡 68-56	029-292-5787	(有)アイタ	下妻市平谷 430-42	0296-44-5296
(有)望月造園	東茨城郡茨城町駒場 1802	029-292-2752	(有)飯村造園土木	筑西市小川 1724-1	0296-28-0008
(有)山喜園	高萩市下手綱 1485	0293-23-6935	稲芝造園建設(株)	筑西市新治 2003-88	0296-57-2045
(株)吉沢緑化造園	日立市水木町 2-21-12	0294-52-0712	(株)岩井造園土木	坂東市大口 2052-1	0297-39-2547
緑地企画(株)	水戸市青柳町 3657-421	029-302-4770	(株)川上造園土木	古河市東山田 1924	0280-78-1312
(株)和香園	ひたちなか市佐和 1735	029-285-0306	(有)小竹農園	下妻市五箇 201	0296-43-4622
＜鹿行支部＞			(株)下館造園	筑西市玉戸 1013-39	0296-28-0069
安藤造園(株)	神栖市矢田部 5806	0479-48-0059	常緑工業(株)	常総市中妻町 5192	0297-22-7106
(株)大賀志造園土木	神栖市石神 439	0299-92-1695	(株)成美造園	常総市豊岡町乙 1234-18	0297-27-2281
大塚造園建設(株)	神栖市筒井 1262-2	0299-92-0530	(株)関城造園	筑西市関本肥土 362	0296-37-3195
大根造園土木	神栖市矢田部 3272	0479-48-3678	塚田造園建設(株)	桜川市真壁町源法寺 704	0296-55-1587
(株)鹿島ガーデン	鹿嶋市宮中 6-6-9	0299-83-3111	つくばクリーン産業(株)	下妻市北大宝 257-1	0296-44-2004
鹿島花壇土木(株)	神栖市柳川 1707	0479-46-0044	中嶋産業(株)	結城市小田林 1424	0296-32-8282(代)
鹿島庭園(株)	鹿嶋市宮中 1992-1	0299-82-2045	(有)中田造園	下妻市北大宝 460-2	0296-44-5432
(株)水郷園建設	行方市四鹿 207-1	0299-73-2006	(有)中山造園土木	坂東市辺田 955	0297-35-0644
(株)辻田造園建設	鹿嶋市下塙 886-3	0299-82-9097	山吉造園(株)	筑西市倉持 629	0296-52-2350
			(株)ワイエスケイ	筑西市乙 836	0296-25-0005